



月	火	水	木	金	土	日
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

令和4年



■塗りつぶしの日が休館です。

『蹴れ、彦五郎』

今村翔吾/祥伝社/F17

駿河今川氏の家督を継ぐも没落の一途を辿る氏真。苦難の日々の中、氏真が心通わせた子らを信長が殺害。蹴鞠の名手・氏真が見せた、最後の意地とは…。表題作をはじめ、第23回九州さが大衆文学賞大賞受賞作など全8編を収録。初期から現在までを一気読みしては？

-----今村翔吾コーナーは2階参考資料室に設置しています-----



『難しい本を読むためには』

山口尚/筑摩書房/019.1 ヤマ

「わからない。でも読まなくちゃ…」 難しい文章に出会ったとき、誰でもできる正攻法がある！文章を読むさいの原理的な指針、読解において活用されるテクニック、読書会のやり方などを紹介する。



『国際報道を問いなおす』

杉田弘毅/筑摩書房/070.4 スキ

ウクライナ報道は、これでいいのか？戦争によって浮き彫りになった日本メディアの抱えるジレンマを指摘するとともに、激変する世界を前に国際報道が果たすべき役割を考える。

『自分を好きになれない君へ』

野口嘉則/小学館/146.8 ノク 青少年

いま感じていることをそのまま受け入れる、他者との間に「ノー」と言える境界線をひく、自分の中の「してはいけない」に「してもいいよ」のメッセージを出す。人間関係の中で最も重要な「自分との関係」の守り方を伝える。

『最後の審判』

岡田温司/中央公論新社/191.6 オカ

世界の終末に神が人類を裁く「最後の審判」。死後の世界はどうイメージされたか。罪は誰が裁き、どんな罪が与えられたか。裁きに正義はあったか。キリスト教の重要主題を多くの図版を用いてわかりやすく解説する。

『江戸 500 藩全解剖』

河合敦/朝日新聞出版/210.5 カワ

江戸時代の「藩」について徹底解剖。藩の基礎知識を解説したうえで、関ヶ原合戦、幕末の動乱、廃藩置県と、藩の存亡にかかわる一大事に各大名がどのように対応したかを詳細に語る。実力格付けランキングなども掲載。

『誤解だらけの徳川家康』

渡邊大門/幻冬舎/289.1 トク

織田信長との「清須同盟」はなかった？「しかみ像」は家康が描かせたものではない？家康にまつわる様々な「誤解」を検証し、真実を解明。従来の家康像を大きく覆し、新たな歴史を紡ぎ出す。

『80代で見つけた生きる幸せ』

G3sewing/KADOKAWA/367.7 シス

82歳で始めたがま口バッグ作り。年金3万円でも生きがいがあるから毎日が楽しい！84歳の父、80歳の母、50歳の三女が営む小さなソーイングチームが、試行錯誤しながら進んできた日々、老後を明るく生きるコツを綴る。

『自治体と大学』

田村秀/筑摩書房/377.1 ム

大学が近くにあることは、自治体にとって地域活性の起爆剤になり得る。だが、地方大学の開学には、財政的な負担が大きい。自治体と大学の関係史を紐解き、両者の望ましい協働、今後のゆくえをさぐる。

『わが植物愛の記』

牧野富太郎/河出書房新社/470.4 マキ 文庫

<日本植物学の父>と称された牧野富太郎の生涯とベスト・エッセイ。自伝をまとめた「想い出すまに」のほか、「随筆草木志」「趣味の草木志」「趣味の植物誌」などから、その植物愛に満ちた文章を選びすぐって収録。

『へんてこな生き物』

川端裕人/中央公論新社/480.4 カワ

森の中を飛ぶ水生哺乳類アマゾンマナティ、手のひらサイズの巨大な虫…。常識を軽く超えてくる「へんてこ」な生き物たちを、新しい科学的なトピックもまじえながら楽しく紹介する。200枚超の撮り下ろし写真も掲載。

『深海の生き物超大全』

石井英雄/彩図社/481.7 イシ

デメニギス、オニキンメ、リュウグウノツカイ、ダイオウホウズキイカ…。奇想天外摩訶不思議な深海の生き物たち全613種を、最新の知見を元に精細なイラストで紹介する。コラム、和名・学名索引も掲載。

『災害とトイレ』

日本トイレ協会[編]/柏書房/518.5 ニホ

災害が起きるとトイレはどうなるのか？災害大国・日本に暮らすうえで知っておきたい緊急時のトイレ問題について、第一線のリアルな経験から得られた生きた教訓をあますところなく紹介する。

『図解リノベーション大百科』

エクスナレッジ/527 エク

ライフスタイルに合った間取りにしたい、収納を充実させたい、家事が楽になるキッチンにしたい…。建築家27人の住まいのリノベーションのアイデアを、ビフォー・アフターの設計図や写真とともに紹介する。



『応援消費』

水越康介/岩波書店/675 ミス

ふるさと納税や推しのアイドルなど、消費することで応援しようとする新しい「お金の使い方」が、社会を動かす大きなエネルギーとなっている。この応援消費に焦点を当て、新時代のマーケティング思考のメカニズムを解説する。

『金魚酒』

深堀隆介/芸術新聞社/723.1 フカ

枱の中に液体状の透明樹脂を流し込み、その固まった表面に金魚をパーツごとに描いていく。何回も繰り返す独特な積層絵画により、生きている金魚がいるような「金魚酒」20年分の作品を、写真で振り返る。

『中高生のスポーツハローワーク』

学研プラス/780 カツ 青少年

競技者としてでなくとも、スポーツに関わり、やりがいや感動を覚えることができる仕事はたくさんある。理学療法士、通訳、ラケット開発者…。スポーツの世界で仕事をしている人達のインタビューと70以上の職種を紹介する。

『翻訳はめぐる』

金原瑞人/春陽堂書店/801.7 カネ

翻訳は楽しくない？母語ってなんだろう？ローマ字ってなんだろう？ 翻訳書600冊、翻訳家兼大学教員の著者が、翻訳や英語、日本語、表記、古辞書、サリンジャーについて綴る。『世界思想』など掲載を加筆修正。

『子どもに学ぶ言葉の認知科学』

広瀬友紀/筑摩書房/801 ヒロ

「これ食べたら死ぬ？」「のび太 vs. のび太」。子どものへんてこな答えや言葉遣いの背後にある、子どもや人間一般の心の働き、認知のしくみ、言葉の性質について楽しく学べる書。『webちくま』連載を大幅に加筆修正。

『エモい古語辞典』

堀越英美/朝日出版社/814.6 ホリ

碧羅の天、千本桜、寒苦鳥、両面宿儺、玉藻前…。あの人気作に登場する言葉の意味がわかる！表現が広がる！小説やマンガなどの創作向けに、想像力が刺激される「エモい」古語1654語を厳選した古語辞典。

『未完の美学』

曾野綾子/河出書房新社/914.6 ソノ

野垂れ死にを決意すれば怖いものはなくなる、それぞれに偏った人生を承認する、不公平に慣れ不運を笑う、何かに流されるという感覚が気楽でいい…。豊かな生と老い、曾野流の生き方の基本を伝えるメッセージ集。

『田舎医者/断食芸人/流刑地で』

カフカ/光文社/943 カフ 文庫

猛吹雪のなか、往診に向かった先で診た患者とその家族とのやり取りを描く「田舎医者」や、奇妙な機械で死刑が執行されている島を舞台にした「流刑地で」など、カフカが自信をもって世に出した傑作短編8編を収録する。

『名もなき本棚』

三崎亜記/集英社/Fミサ 文庫

非常階段に置いてある不思議な本棚、自由に自爆する権利のある社会…。刺激的な世界を堪能できる全19編をまとめた文庫オリジナルアンソロジー。中学・高校の教科書に採用された「私」「ゴール」「公園」も収録。

図書館のホームページで蔵書検索や本の予約ができます。また、登録された方にはメールで新着本をお知らせする「新着案内メール」を配信しています。

◆◆ホームページアドレス◆◆ <https://www.library.otsu.shiga.jp>

行事予定は裏面へ

